



下村健一の「手づくり動画」ウオッチ

元TBS局アナ兼取材記者。報道番組などに出演するかたわら、一般市民の映像制作を支えるアドバイザー歴14年。現在、慶応大学特別招聘教授（マスコミュニケーション）

今回ご紹介する動画
「原発の町を追

われて」を手づくりしたのは、映像関係の仕事とは無縁の堀切さとみさんという女性。先日議論を呼んだ漫画「美味しんぼ」福島編は、注目された「鼻血シーン」の次の号で、廃校になった高校の校舎を使った避難所の様子も描いている。その

避難所でボランティアをしていた堀切さんが、住民の本音を聞くうちに、これをビデオで撮って記録として残したい！という思いが高じ、ついに映画になってしまった——という作品だ。

あの原発事故が住民同士を深刻に分断してしまった現実も、ありのままに描き出す。「美味しんぼ」福島編に登場する井戸川克隆・双葉町長（当時）が、仮設住宅の集会で問い詰められるシーンなど、見ている私まで手を挙げて意見を言いたくなくなる臨場感。実際、堀切さんは撮影中に思わず発言をしてしまい、参加者たちから「お前は何者だ！」とその場を追い出されたという。ジャーナリストだったらありえない当事者感覚あふれる裏話だ。

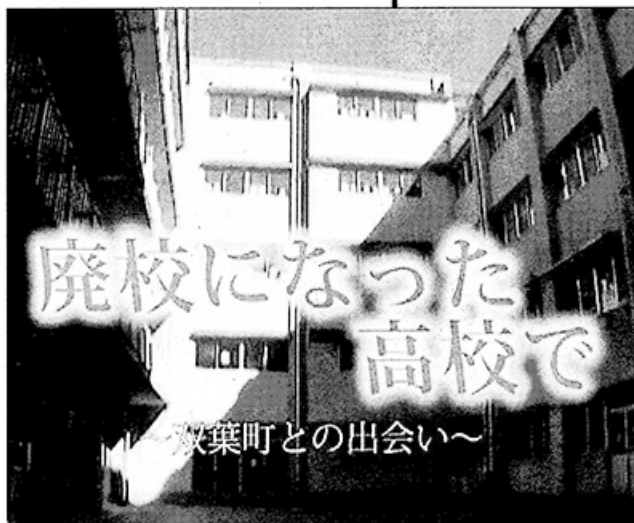
今や公式サイトまである堂々たる作品だが、その製作過程や魅力は、「手づくり動画」そのもの。ここで

避難住民の本音を記録

ご紹介するのは、題名を変えた短編版への入り口＝写真＝だが、ぜひ各地で行われる自主上映会で、上記シーンも登場する本編の方もご覧いただきたい。



前回の本コラムでご紹介した作品「おくりもの」について、たくさんの問



い合わせをいただきました。今回から、アクセスの方法を末尾に掲載します。

☆「原発の町を追われて」堀切さとみ（埼玉）作
【視聴するには】「廃校になった高校で」と「TVF」でネット検索（短編版）

☆「おくりもの」（前回は佐藤好子（東京）作
【視聴するには】「おくりもの」と「TVF」でネット検索